

# 北広島ふるさと夢プロジェクト 便り

平成28年  
8月15日

北広島町内小学校

## 5年生「北広島ふるさと夢プロジェクト」で、「ふるさと」のすばらしさを学ぶ

～3泊4日町内での民泊による宿泊体験活動をおこないました。～

北広島町で進めている若者定住対策の一環として実施している「北広島ふるさと夢プロジェクト」に、町内の5年生が参加しました。このプロジェクトは、「ふるさとを知り、ふるさとを愛し、将来ふるさとに住みたい、ふるさとに帰りたくなる子供の育成」「学校を越えた同学年児童の人間関係の育成」を目的としています。

5年生は、7月上旬から下旬にかけて、町内9小学校の児童が以下の3つのグループに分かれて、北広島町内での宿泊体験活動を行いました。1泊目は各校ごとに学校でみんなで夕食を作り、宿泊しました。2～3泊目は民泊を行い、それぞれの期間で、共通の活動を行いました。民泊家庭での田舎暮らし体験・川魚つかみ取り体験・登山などです。地域の自然体験を楽しんだり地域の方との交流をしたりするとともに、町内の児童の絆を深めることができました。プロジェクトの様子について、紹介します。

### 【グループごとの民泊の期間・活動地域等】

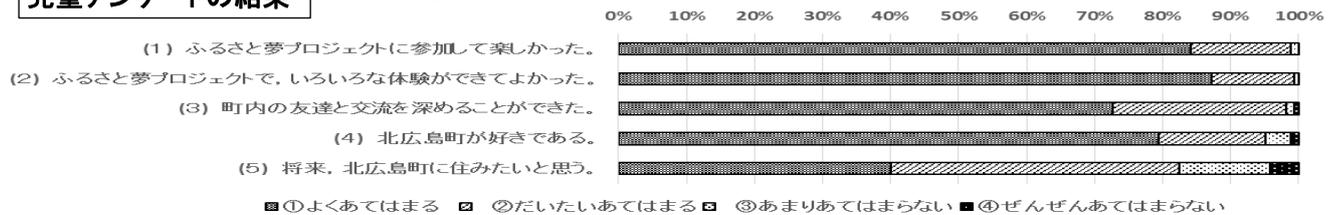
- (A) 新庄小・川迫小・八重小・本地小・豊平小 (7月4日～7月7日)  
■芸北文化ホール ■芸北大暮養魚場 ■芸北・豊平・千代田地域民宿等 ■登山(高杉山)
- (B) 芸北小・八重東小 (7月11日～7月14日)  
■豊平中央公民館 ■芸北大暮養魚場 ■大朝・豊平地域民宿等 ■登山(龍頭山)
- (C) 大朝小・壬生小 (7月19日～7月22日)  
■芸北文化ホール ■芸北大暮養魚場 ■芸北・豊平地域民宿等 ■登山(雲月山)



活動終了後に行った児童アンケート結果を見ると、北広島町のいろいろな体験を楽しみ、すばらしさを実感したり、新しい友だちをつくったりすることができた児童や北広島町が好きと感じている児童がたくさんいました。(肯定的回答9割以上)また、将来北広島町に住みたいと肯定的に回答した児童も8割を超えました。

### 児童アンケートの結果

### 北広島ふるさと夢プロジェクト事業(5年)宿泊体験活動児童アンケート



### 宿泊体験活動2日目

#### 開会式 (Cグループ)



芸北文化ホールで、開会式と児童交流を行いました。グループ代表校長と参加児童の代表が挨拶をした後、各校の自己紹介を行いました。最初の式ということもあり、やや緊張した様子でしたが、これからの活動に期待を膨らませていました。

#### 児童交流会 (Aグループ)



他校の児童と交流し仲良くなるために人間関係づくりを行いました。活動班ごとに自己紹介や目標決めをしました。身振り手振りだけで誕生日順に並ぶ「バースティライン」や「猛獣狩り」等をして大いに盛り上がりました。

#### 対面式 (Bグループ)



対面式では受入家庭の家族の方の自己紹介がありました。子供たちは初対面で緊張していましたが、民泊を何度も受けておられるベテランの方ばかりなので、優しくユーモアたっぷりにお話していただき、子供たちの緊張も解けました。民泊生活への思いが高まりました。

## 宿泊体験活動3日目

### 川魚つかみ取り体験

(Aグループ)



大暮養魚場ではあちこちから「やったー、取ったぞ。」の声、声！炭をおこしたり、「命をいただく」というお話を聞いたりしました。「いただきます」の言葉の意味を知って食べた、塩焼きのアマゴは最高の味でした！

### 田舎暮らし体験

(Bグループ)



民泊家庭では、野菜の収穫や夕食作り、花火等をさせて頂きました。2日目の夕食はソーメン流しの家庭が多く、一緒に竹を割ったり箸を作ったりする等の体験を通して北広島町のよさ、家族の温かさを感じました。

### 田舎暮らし体験

(Cグループ)



野菜の収穫・食事作り・食事の器や箸作り・薪割り・川遊び・木登り等、普段の生活では体験できにくい活動を楽しみました。民泊家庭の方と仲良くなり、ますます北広島町が好きになったという児童がたくさんいました。

## 宿泊体験活動4日目

### 登山 (Aグループ)



芸北高杉山(1148m)に登りました。暑さと思った以上の急な山道で大変でしたが、友達と声をかけあって最後まであきらめずに頑張り、見事登頂しました。

頂上では、みんなさわやかな気持ちで記念撮影をしました。

### 閉会式 (Cグループ)



民泊家庭の皆さんをお迎えし、夢プロ応援隊の教育委員会の方も出席して下さって、閉会式を行いました。代表児童が、心に残ったことやお世話になった皆さんへの感謝の思いを述べました。

### お別れ式 (Bグループ)



民泊家庭毎に龍頭山登頂記念の焼印を作りました。その後、思い出の写真を鑑賞して3日間を振り返りました。短い期間でしたが、お世話になった家族の方とお別れはとても寂しく、「また会いたいです。」と別れを惜しんでいました。

## 児童の感想から

### 体験活動をして・・・

- 民泊で薪割りをして、「おの」や「なた」ですばっと割れたから気持ちがよかった。
- 畑の野菜を手で抜いたことがあまりなかったので貴重な体験になった。
- 川魚のつかみ取り体験で、命の大切さを知った。食べる時、食べ終わったときなど、心をこめて「いただきます」「ごちそうさま」を言いたいと思った。など

### 人との交流から・・・

- 民泊の家のおじさんが良いことはほめてくださり、いけないことはいけないと注意して下さったのでとても勉強になった。
- 家族のように接して下さり、すごく嬉しかった。お母さんの気持ちが分かった気がした。
- 登山でつらい時に、他の学校の友達と励まし合いながら登った。班の友達とも仲良くなって、また会いたいと思った。など

### 変わったこと・・・

- 民泊家庭で掃除を協力してできたので、家でも掃除をするようになった。
- ご飯を作るとき、とても大変だったので、もっとお母さんに感謝しないといけないと思った。など

## 保護者の感想から

- お手伝いがよくできるようになった。親が何も言わなくても進んでやってくれるようになった。
- 嫌なことでも後回しにせず先にやらなければいけないと思うようになってきた。
- 集団生活の中で人のペースに合わせたり、我慢したり、人に助けってもらったりした話を聞き、普段の学校生活以上に多くの事を体験して帰ってきたと感じた。など

【お礼】プロジェクト実施にあたっては、北広島町農山村体験推進協議会、民泊家庭等のご協力と共に芸北大暮養魚場などいろいろな体験・見学場所の皆様にも、大変お世話になりました。ありがとうございました。